



秋田県産材料にこだわった米菓の製造・販売

～有限会社鼎家～ 男鹿市



(社長の米田氏)

男鹿市にある有限会社鼎家^{かなえや}（社長・米田賢吾氏）は、米菓などの製造小売、土産物の卸・小売を手掛けている。

●土産物販売と米菓などの製造・販売を展開

同社は、社長の父である会長の賢二氏が2004年に男鹿市で設立し、土産物の卸売業を手掛けた。米田社長は、飲食店など民間企業での勤務を経て2014年に入社した。2015年に社長に就任し、米菓など自社製品の製造・販売を始めた。現在の売上高の構成比は、土産物の卸売が6割、米菓などの製造・販売が4割となっている。

従業員数は18名で、このうち女性は13名と大半を占める。同社では、“イクメン”でもある米田社長の「家族のことを最優先に考える」との方針の下、家族の体調不良などによる早退・遅刻や有給休暇の当日申請にも柔軟に対応し、働きやすい環境整備が進んでいる。

●「秋田県産材料」にこだわり自社商品を開発 土産物の卸売業界で同社は後発であったた

【会社概要】

- 1 代表者名 米田 賢吾
- 2 所在地 男鹿市船越字内子1-231
- 3 事業内容 米菓等製造小売業、土産物卸・小売業
- 4 設立 2004年
- 5 資本金 300万円
- 6 従業員 18名
- 7 売上高 145百万円（2019年10月期）
- 8 TEL 0185-35-3165
- 9 FAX 0185-47-6262
- 10 URL <http://kanaeya.co.jp/>

め、新規取引先の獲得で苦労を重ねた。米田社長は、販路開拓に向け自社商品の開発を決意し、2015年、秋田市に工房を設け、稲庭うどんを揚げた菓子「稲庭かりんとう」の製造・販売を始めた。これまでにない新しい発想の商品はたちまちヒットし、取引先数の増加に繋がった。

次に、県総合食品研究センターの協力の下、県産のうるち米を原料とする米菓の製造に乗り出し、2017年に手揚げ煎餅「淡雪ふわり」を発売した。食感が軽いこと、男鹿産のギバサ、エビ、しょつつるなどの風味を揃え本県の食文化の特徴を打ち出していることが評価され、発売直後から人気を集めている。2019年には、県内老舗味噌・醤油醸造元の石孫本店（湯沢市）、浅利佐助商店（鹿角市）とコラボレーションし、3種類の手焼き煎餅「金の^{ていあん}鼎庵」、「銀の鼎庵」、

「極の鼎庵」を発売した。このうち、醤油と味噌で味付けした「金の鼎庵」は「あきた食のチャンピオンシップ2019奨励賞」を受賞したほか、同年秋に伊丹空港発秋田空港行きの日本航空便・クラスJの機内サービスで提供された。

米菓は、県内の空港や道の駅、百貨店、スーパーマーケットのほか、県外で開催される秋田県物産展で取り扱っている。「県産材料を用いたお菓子は安心感がある」、「酸化防止剤を使用していないため、健康意識の高い人に喜ばれる」などの理由から、土産物用としてだけでなく、お礼やお見舞いといった贈答用の需要も高く、リピーターの獲得に繋がっている。

●工場と直営店舗を新設

米菓製造・販売に一層注力するため、同社は2019年に潟上市天王に工場を開設した。この開設により、生産能力は従来と比べて4倍に拡大し、首都圏などの大口注文にも対応が可能となった。工場には同社初となる店舗「米菓匠 鼎庵本店」を併設しており、職人が煎餅を焼き上げる様子を見学することができる。次いで、2020年8月1日、秋田駅西口駅ビル内に「米菓匠 鼎庵トピコ店」をオープンした。トピコ店のみが扱う限定商品を用意し、県内客にとっても魅力ある店舗づくりに取り組んでいる。

●「米から語れる煎餅屋」を目指して

現在は、「米から語れる煎餅屋」を目指し、原料米の品質向上を通じたブランディングの強化に力を入れている。2020年春に県内農家と契約を結び、一等米への切り替えを始めているほか、一等米を原料とする新商品の開発を進めている。業界では粒が小さいなど主食用米に適さない米



「米菓匠 鼎庵トピコ店」

を用いることが多いため、一等米の使用は画期的な試みと言える。米田社長は、「秋田県は米の産地として全国に名高いものの、他の米どころと比べて米菓の生産規模が小さい。米菓の魅力発信に取り組み、生産量拡大に繋がりたい」と意気込んでいる。

●今後の目標

1つ目の目標は、県外の高級スーパーへの納品を実現させ、売上全体に占める県外売上割合を現在の3割から5割まで引き上げることである。2つ目として、米を原料とする商品づくりを米菓以外にも広げたいと考えている。すでに複数の食料品製造業者と連携し、甘酒やきりたんぼを製造する計画を立てている。米田社長は、「多様な商品を通して、消費者に県産米のおいしさを伝えたい。将来的には、米の加工食品といえは“鼎家”と連想してもらえるようになりたい」と意欲を語る。（相沢 陽子）

米田社長からのひと言

2020年4月、本社を置く男鹿市、工場を開いた潟上市にある小学校12校の新一年生へ、入学祝いとして煎餅の詰め合わせを寄贈しました。子どもの頃から煎餅に親しみ「故郷の味」として覚えてほしいとの願いを込めています。